

緑の風

2015年3月 vol.6 (通算57号)

■ 発行: 緑が浜小学校P.G.T.

■ 編集: 広報ボランティア

■ 所在地: 茅ヶ崎市緑が浜1-1

■ 印刷: 仲手川印刷

vol.6

全部で4年間、P.G.T.役員を務めさせていただきました。

よく「役員って、大変でしょう?」と言われましたが、役員の仕事自体は正直、大変だと思ったことはありません。

役員の活動や仕事は、役員だけが全てを背負ってやるものではありません。行事やボランティアなどに積極的に参加してくださる、役員以外の保護者の方々(P)や、祖父母の方々(G)、P.G.T.活動に理解と協力をしてくださる先生方(T)。そんな皆さんのおかげで、本当に楽しく、安心して活動出来ました。

大変だった:を覚えて1つあげるとするならば、それは役員を続けるかどうか悩み、決断した時のことです。今思えばその決断をするまでが一番大変でした。

次期役員の方々もきっと、引き受ける決断をするまでに、たくさん悩まれたことでしょう。そして今、「ちゃんと務まるかな?」という

不安な気持ちの中にいると思います。

でも、その不安は、

皆さん(保護者・祖父母・先生方)の

ご協力と励ましの言葉が、1つ

ずつ解消していつてくれる

ことを私は知っています。

それは4年間役員を経験し、

実感していることです。

どうか皆さん、勇気ある決断をしてください

次期役員たちに、ご協力をお願いしますね!

ありがとうございました



26年度 P.G.T.副会長 藤岡 恵美

「感謝と共に。」

広報ボランティア担当
P.G.T.役員: 佐藤・藤岡

広報誌作りでは、子どもたちの生の声と祖父母や親の子どもにかける思い、先生のこんな教育をしたいという思い、子どもたち、保護者、先生の思いをどうしたら構築してできるか?と
言うことを意識して、役員として、広報に携わってきました。
振り返ると、とにかく個性的に自由な感覚で、楽しく作っている姿が文面より、読みとることが出来ます。

広報担当の6人のメンバーは、忙しい中、協力して、やるときはやる姿を見せてくれました。

お母さんたちの底力、パワフルさ、柔軟さ、軽やかさを、次世代の緑の風で、届けて行けたらと思います。

劉問会長は続投します。
よろしく!



② こども安全

児童を犯罪や交通事故から守るため、校門と学校周辺の見守り活動を行います。今年度は夏休みを除き、毎月第1、第3月曜日に実施していますが、ご自身の都合のよい日の登下校時に腕章をつけて、家の前の路地に立っていただくような、各自の見守りでも結構です。年に1回、通学路安全点検を行います。



① パパボランティア

H26年度新設のボランティアです。母親だけでなく父親の協力も時として必要に。みどりの子夏祭り以外にも随時協力をお願いします。もちろん都合のつくときだけご参加ください。



③ 花壇

校内の花壇の植え込み、雑草抜きなど、小さなお子さんを連れていても楽しく作業ができます。今年度は10月1日の午前中に2時間程度の活動でした。また3月19日に卒業式に向けてのお花を飾り（午後2時間程度）、3月20日にその片付け（午後1時間程度）を実施します。



④ 広報

年に1回以上で広報誌「緑の風」を発行し、学校、P.G.T.、行事などを紹介します。活動日は必要に応じて。



⑤ ベルマーク

会員から集められたベルマークの回収・集計作業（自宅または学校で）を行います。作業量は2時間程度。集計作業は自宅でもできるので、お仕事をされている方や小さなお子さんがいる方に、毎年たくさん参加していただいています。

⑥ みどりっ子見守り隊

祖父母により、登校時に校門と学校周辺であいさつ運動と見守り活動を行います。今年度は、夏休みを除き毎月第1、第3月曜日に実施しました。



年間を通して数回活動するボランティア

どれにする？

新年度に実施される（はずの）「全員参加型ボランティア登録」に先立ち、改めてボランティア紹介をしまーす！ ちなみに、平成25年度より「みんなで子育てしようよ」という想いで「全員参加型ボランティア登録」の呼びかけをしています。てことで、新年度もあるはず…のボランティア登録。さあ、あなたはどのボランティアに登録しますか？ 春休みの間に考えておくといいかも〜♪

決まった期間、日程に活動するボランティア

（期間、日程については新年度にお知らせします）

⑦ 運動会の警備

不審者の侵入を防ぐため、校門での警備や校内および周辺の見回りをします。運動会当日に30分程度の活動です。



⑧ 授業参観の受付

不審者の侵入を防ぐため、児童用昇降口で来校者の受付を、数名で行います。授業参観日の都合のよい日に、登録人数に応じて1時間～2時間程度。



⑨ 夏休み図書貸し出し

夏休み中に子ども達が図書室を利用できるように、本の貸し出しや返却のお手伝いをします。夏休み中の図書室開放日で都合のよい日の午前または午後で、2時間程度を1～2回。



⑩ みどりの子夏祭りお手伝い

緑小学区推進協主催の夏祭りのお手伝いをします。野菜切り、テント設営・荷物の運搬など。力仕事はお父さんの活躍の場です。ぜひパパボラ登録と合わせて、みどりの子夏祭りお手伝いにもご登録ください。夏祭り当日に、1時間程度。

⑪ 学校へ行こう週間受付

不審者の侵入を防ぐため、児童用昇降口で来校者の受付を、数名で行います。学校へ行こう週間の都合のよい日に、登録人数に応じて1時間～2時間程度。



⑫ 地域ふれあいの日受付

不審者の侵入を防ぐため、児童用昇降口で来校者の受付を、数名で行います。地域ふれあいの日の都合のよい日に、登録人数に応じて1時間～2時間程度。



⑬ 新入学児童保護者説明会時の託児

新入学児童の保護者に落ち着いた説明会に参加していただくため、未就園児童の託児を行います。新入学児童保護者説明会の日、午後2時間程度。

⑭ 卒業式前そうじ

普段できない場所を掃除し、6年生が気持ちよく卒業式を迎えられるためのお手伝いをします。卒業式近くの日、午前中1時間程度。



2年続けた広報誌作り。発行の後、先生や子どもたち、保護者の方に「面白かったよ!」「すごいね!」「そーゆーことになってたんだね!」「ありがとう!」などと言っていただくことが多くて、励まされてここまでできました。

発行前の打ち合わせ段階で、ひゃっは一楽しい〜♪ノリノリ〜♪なんてことはむしろなくて、いつも、こんなんでできる気がしない、という状況。でも、メンバーと話しているうちになんとなく好奇心が湧き出してきて、スケジュールが見えてきて、も!やるしかない!となり、あとは、なんとかこなしてしまうという(笑)。

結局、まずはやり始めてみる。走り出すと考えが動き、アイデアが出てくるってことは、いろんなことに共通のことなんだなあ、と、今、つくづくと実感しています。

そして、こども達から、直接、話を聞く機会があったことは当によかったと思います。こどもは、ほんやりと与えられた日々を生きているのではなく、その子なりに世界を捉えていて、その子らしく楽しみ好き、組み立てなおして理解し発信している、ということも、活動を通して教えていただきました。子どもたちがこの8年という時間の中で、びっくりするほど大きく成長してきたんだ、そして、その成長を促し支えてくださったのが学校や祖父母の方や地域の方なんだな、と、気づかせていただきました。これは広報ボランティアをしなければ、できない発見でした。(今井)

思えば2年前、広報やろうかな〜どうしようかな〜やっぱ無理かな〜いやどうかな〜と迷いに迷った挙げ句、「迷った時は大変な方を選べば間違いない!」とどこかで読んだことを思い出し、広報の欄に簿〜〇を付け、でも小さい子がいるから、なんて但し書きまでして。私、かなり及び腰だったんです。それから今に至るまで、自分の子どもが通ってる学校なのに、こんなにも知らない事があったんだ〜と鈍感になっていた自分にショックを受けたり、色々な驚きや発見があったり、同じように感じ合える素敵な仲間に出会えたり。しかも、緑小のように、先生やP.G.T.の方がとってま協力的で、既成概念にとらわれない自由な発想で作ることができる広報は、他にないと思います。断言!!

ね。ちょっと興味が湧きませんか?
そうなのよ。マルチな才能なんて必要ないのよ。
だからお願いっ。
とりあえず来年度、一緒に作ってみませんか(≥▽≤)
(宅見)

当初は、ほんのお手伝い…のつもりでした。印刷会社で働いていることもあり、印刷の相談ののってこれない?と頼まれたのがキッカケで。聞けば、メンバーはたった2人!?びっくり!そして、見せてもらった掲載予定の記事も、何だか感心してしまいました。いい意味で広報誌らしくない感じ、書き手の好奇心が伝わってきて、ああ、いいな、と。そして編集とデザイン担当として、メンバーに加わる事になりました。翌年には仲間も倍に増え、合計6名、「らしくない」けど「興味を持ってもらえる」広報誌を目指して、のびのび作らせてもらって楽しかった!いかにも大変そう〜と、ずっと敬遠していた広報ボランティア。今はやって良かったな〜としみじみ思います。「緑の風」が今後ずっと続いていきますように!それだけが気がかり〜(中本)

広報ボランティアをさせていただいたのは、引っ越してきたばかりで、新しい学校や環境の中、子ども達も頑張っているから私もがんばってみようかなといった気持ちからでした。広報への意気込みも何も無い形で参加した初顔合わせでの印象は、正直「しまった!こんな新参者が来る場所ではなかった!」という感じでした。みなさんものすごく有能で、そしてパワフルなんでもん。その印象が変わったのはメンバーの写真撮影。あまりの熱心ぶりに、腹抱えて笑いました。ほんと、みなさん面白くてびっくり。また、学校の広報誌というものがこれほど自由に作られていくのだということにもびっくりしました。私自身は、ほんの少し取材し、記事を書いて送るだけでしたが、できる範囲でやらせていただけるし、無理強いもされないし、とても楽しく一年間を過ごせました。本当に広報メンバーの方々に感謝しています。広報ボランティア、興味があっても踏み出せない人も多いんじゃないかと思いますが、踏み出してみればなんとかなる、何とかなる範囲でしか仕事しないっていうのも許される(許されてたと思ってます。勝手に…)のではないかと思います。(種村)

三姉妹の末娘が卒業で、12年間お世話になった小学校とも、とうとうお別れです(T_T)この場をお借りして、12年間ありがとうございました!!

最後に何か出来ないかと、広報に飛びこみました。

経験がないのに無謀な選択だった?と少々不安になりましたが、パワフル(＆刺激的)な広報メンバーにたくさん助けられ乗り切ることが出来ました!

子ども達の取材では、子ども達がとても深く物事をとらえていたり考えていることを改めて知り感動でした!我が子だけではわからないことを知ることが出来ました。

イラストは「意外と上手いね〜」と娘達に言われ嬉しかったですね。母の新しい一面を見せられた?

広報ボランティアは、どれもこれも貴重な経験になりました。かかわった皆さんに心から感謝です!(貞広)



3人目のご専任として、最後に何かしたいと思いつつも最終学年でやっと腰が上がり、やりたい気持ちと、仕事の狭間で悩みましたが「出来る時に出来る人が」の精神の基、皆に助けられ、皆と楽しく、出来る時にやってこれました。気持ちがあれば何でもなる!みんな協力!強制ではないP.G.T.だからこそ、まずは参加!まずは登録!思ってるよりも、まわりは優しいです。とても楽しい活動でした!!ピバ広報♥(金子)

この子【緑の風】を育ててくださる方、募集します!

広報ボランティア6名のうち、4名が卒業生の保護者です。やばし! 存続危機!?って、実は、ドキドキしてます。おとし数年ぶりに復活した広報誌。ボランティアが集まらなければ、緑小の広報誌は再びなくなってしまいます。どうかこのまま途絶えてしまうことなく、この【緑の風】がすくすくと育って欲しい。

一人でできることは限られているけれど、**何人か集まればなんとかなるんです!**

パソコンができなくても、文章を書くのが苦手でも、レイアウトやデザインができなくても、ぜんぜん大丈夫! 問題なし! できないことはやらなくてOK。できることを持ち寄って分業すればいいんです。そして、できることは、必ず何かしらあります。

私たちの緑小の広報誌は、積み重ねてきた歴史が少ない分、**とにかく自由です**。興味と好奇心の赴くままにのびのびと作っていいんです。年間の発行部数も決まっていません。最低、年に1回の発行でもいいんです。ちょっとだけ、やってみてもいいかも?と思えたら、ぜひ! 広報ボランティアに登録してみてください。